

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	家電量販店（従業員）	・暑くなるとともに冷房器具の需要が増え、更にエアコンの省エネ基準改定を控え、早めに購入する消費者が増加しているため、売上は良くなる。
	◎	住関連専門店（従業員）	・地域でのプレミアム付商品券の企画が7月より実施されると発表された。このことにより予算も前年の2.5倍となり、活力源として大きく期待している。
	◎	タクシー（統括者）	・現在の乗務員数の好調な増加が稼働や収入増加につながるためには数か月が必要である。
	○	商店街（代表者）	・現状が良いわけではないものの、今後はやや上向く程度である。
	○	百貨店（企画担当）	・6月からの行政発行のプレミアム付商品券の利用開始に伴い、消費が喚起されプラスに作用することを期待している。
	○	百貨店（営業担当）	・中東情勢の終息に期待している。
	○	百貨店（リーダー）	・お中元や初盆の引き出物など贈答品の需要が高まる時期となりやや景気が良くなる。
	○	百貨店（経営企画担当）	・今月に回復した要因として、地区商業連合会により販売された商品券の効果が考えられる。発売総額が9億円で、有効期限が8月までであるため、この効果は当面の間続くと予想される。
	○	スーパー（企画担当）	・節約志向に変化はないが、販売手法の転換を図ることで買上点数を増やしたり、売上の確保が期待できる。
	○	家電量販店（店員）	・今年一年間はこの傾向が続くとみられ、商品の供給状況次第だと推察している。
	○	家電量販店（従業員）	・エアコンの省エネ基準改定に関する取組への客の反応が想定より良い。
	○	乗用車販売店（役員）	・今後も、注文再開車種の販売が予定されているため、多くの来客数が見込まれるが、中東情勢の影響により、オイル交換や板金作業等のカーメンテナンスの入庫にやや支障が出てくる。
	○	その他専門店 [コーヒー豆]（経営者）	・3か月前と比較するとインバウンドが多くなっている。前年と比較しても特に台湾からのインバウンドが増加し、それに伴い売上も増加している。また、これから夏になるため飲料系のコーヒー需要が多くなり売上が伸びていく。
	○	その他専門店 [書籍]（副店長）	・8月に移転を控えているため、3か月後は新店舗での営業となり売上増加が予想される。
	○	旅行代理店（職員）	・夏のバスツアーやパッケージツアーの販売増加を見込んでいる。
	○	タクシー運転手	・梅雨になるため利用者数の増加が見込め、更にタクシー運賃の改定で単価の上向きが見込める。
	○	理容室（経営者）	・前月後半から、石油の問題も含め物価が上がり、非常に生活がしにくいという客の声が多くなっている。客の来店期間が延び、相対的に全体の来客数が減少したことで客単価が下がっているが、これから暑くなるため、客単価の上昇を期待している。
	□	商店街（代表者）	・支援策としてのガソリンや電気代など生活に関わる補助が終了すると消費者の生活は厳しくなる。イラン情勢が終息しなければ、現状のままと予想している。
	□	商店街（代表者）	・景気が上向く材料が見当たらない。今後、プレミアム付商品券などの様々な給付金も予定されているが、一時的な効果しかないと予想している。
	□	商店街（代表者）	・大型店舗等の売出しや固定客の維持の難しさで、商店街の専門店是非常に厳しい状況が続いている。
□	商店街（代表者）	・今後の客の動きがどの程度当社に流れてくるか読めないため、今まで以上の売上増加は望めない。	
□	一般小売店 [精肉]（店員）	・ナフサ関連の商品の値上がりで、一般経費が増加し、利益を相殺すると見込んでいる。	
□	百貨店（経理担当）	・節約志向は今後も続くと考えられ、衣料品を中心に売上が余り期待できない。	
□	百貨店（営業担当）	・各種値上げで先行きが不透明である。	
□	百貨店（業務担当）	・これから梅雨を迎え、気温も落ち着き、例年と同様の動きになると予想している。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・中東情勢の見通しは不透明であるため、景気が改善するとは考えにくく、今後も当面変わらないと判断している。消費者可処分所得が上昇することがあれば消費支出が増加し、景気が上向くことを期待している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・現状で消費動向は厳しいが、今後の中東情勢の影響により様々な物が値上がりし、消費マインドが上向く要素はほとんどない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・石油問題が発生しているが、近いうちに解決されるという雰囲気を感じている。現在の消費のトレンドは当分は続くとして予測している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・中東情勢の変化により、大きく先行きが変わるとは考えられず、危惧している。客の購入単価は下がっていき、厳しい状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・物価高と消費税の減税等によって状況は変わってくる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当・店長）	・これからは天候や気温に左右される季節商材が売れてくるが、通常の商品は今までどおり買い控えが続き、売上は伸びないと推測している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店	・いまだに明確な物の価格高騰改善の兆しがみられない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・3か月後の8月は異常な暑さになることを想像できる。また、自然災害や世界情勢の影響もあるとみている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・エアコンの省エネ基準改定やナフサ不足による商品の値上げを避けたい消費者からの売上は見込めるが、景気が良くなる材料は何もない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・エアコンの省エネ基準改定を控えた特需で来客数が大幅に増え、エアコン以外の商品も売上を大きく伸ばしている。今年はエアコンにけん引され全体的に前年を上回る状態で推移すると考えている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（代表）	・景気が変わるような要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・中東情勢により、石油関連商品の不足が製品製造に影響している。値上げ幅が大きいと、消費者からは買い控えの傾向がみられる。しかし、夏場に向けてプレミアム付商品券の発行予定があり、消費の刺激や活性化につながることを期待できる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	・仕入高騰により値上げしたため、来客数の減少が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（専務）	・先の見通しは全く立たず、猛暑が旅行に影響すると懸念している。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（支配人）	・物価の上昇や中東情勢等の影響により動きが良くない状態が続いているため、今後も現状と変わらず推移する。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（統括者）	・世界情勢や物価高の先行きが不透明で見通しが難しい。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・雨や暑さにより、短い距離の利用が増えるため、売上は変わらないと見込んでいる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・引き合いや相談は継続しており、顧客の投資意欲も比較的高い状況にある。一方で、案件化までに時間を要する傾向がみられ、具体的な受注動向は見通しにくい。今後2～3か月についても販売量は現状と大きく変わらず、横ばいで推移すると見込まれる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	・特に新商材もないため変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・起爆剤となるような県レベルのイベントなどが無い。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・時期的に、来客数の増加が見込める時期となるが、物価の上昇等の不安材料が多く、良くなるとは言えない。
<input type="checkbox"/>	競馬場（職員）	・当競馬場でのレース開催を迎えるが、特段大きな変動はないものとみている。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・2～3か月先になると夏枯れの時期となり、この業界では景気回復が難しい。徐々にではあるが、景気が横ばいになってきている。ガソリン価格など石油問題もあり、消費者は買い控えをしていると考えられ、業界全体が盛り上がりえない状態である。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・商材単価は高くなり、経費も掛かっているが、客は料金安価なサービスを希望しているため、経営に困っている。中小企業は厳しい状態で深刻な問題である。
<input type="checkbox"/>	美容室（店長）	・これから暑くなり、また、値上げする商品が多くなることを心配している客が多いが、しばらく景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・今月の状態が2～3か月先の結果となり、この状態が続くため変わらないと考えている。

▲	商店街（代表者）	・6月は梅雨に入るため、客足の減少は否めない。
▲	商店街（代表者）	・人口が徐々に減少しているため、当商店街のような小規模商店街は一段と厳しさが増し、今後の状況について懸念している。
▲	商店街（代表者）	・生活必需品の値上げが度々あり、し好みや洋服類が買い控えとなっている。送料が多少上がっても生活の向上にはつながらず、厳しい状況には変わらない。
▲	商店街（代表者）	・物価高の影響はまだ続くと予想される。観光客の来店は目立ってきているが、通常の客は若干減少し、節約傾向にあると推測される。
▲	一般小売店〔青果〕（店長）	・気温が高くなると当地や九州産の野菜が減少するため、東北中心の野菜が多くなる。そのため、流通コストが増加し、価格高騰になる。また、消費者の食欲も減少するため厳しい状況になっていく。
▲	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・依然として続く中東情勢の影響やナフサ問題での物価高騰もあり売上は伸び悩むと見込んでいる。
▲	百貨店（企画担当）	・中東情勢による原油量の減少に伴う影響が開始すると推測している。現時点では、値上げの影響はほとんどみられない。
▲	百貨店（企画担当）	・クリアランスセールが落ち着く頃だが、暑さが続き、秋物の購買にはつながりにくいと予想している。
▲	百貨店（営業企画担当）	・中東情勢の影響は今後一層拡大すると想定され、身の回りの消費を抑える傾向は続く。
▲	スーパー（店長）	・世界情勢の混迷化により、石油関連製品の調達の不透明さが多方面で影響を及ぼし、事業や景気に悪影響を与えていると考えている。
▲	スーパー（店員）	・中東情勢の影響が、歯磨粉の出荷停止や新製品の延期など小売店でも始めている。ナフサを使用したニトリル手袋などの値上げも予定されている。客の購入量が増えているため売上が上がり、毎週発注量で悩んでいる。商品の価格が上がることで店の売上が前年よりも上がっている状況である。
▲	スーパー（経理担当）	・イラン情勢の先行きについて不透明感が続くと予想され、あらゆる物価が上昇していく。
▲	スーパー（従業員）	・中小の小売業は、販管費等で経費の上昇が年々加速しているため、粗利を使い尽くし経営が容易でない状況である。現場では、働き手が足りず、AIを活用しながら業務改善を行っているものの、システム投資に費用が掛かり、長期金利の利息も増え、ますます厳しい状況になると予測している。
▲	コンビニ（経営者）	・物価高で景気はやや悪くなる。
▲	コンビニ（経営者）	・中東情勢が不安定な状況で、多くの業界が原材料の調達に苦慮している。景気はインフレ傾向となり、消費は下降すると予測している。
▲	コンビニ（経営者）	・気温上昇にもかかわらず夏型商品の販売増加の動きが弱く、節約とディスカウント店利用の流れになっている。
▲	コンビニ（店長）	・ミニスーパーの進出が目立ち始め、売上に影響が出始めている。
▲	乗用車販売店（役員）	・中東情勢の長期化による影響でプラスチック部品や油脂類、塗料関連品などの供給に支障が出ているため、新車生産、点検時の油脂不足、板金修理で塗料やシンナー不足など不安要因が多い。
▲	乗用車販売店（総務担当）	・中東情勢による原油輸入の停滞が懸念される。
▲	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・トレンドアイテムに期待をしているものの、アパレル店に明るい兆しがみえない。前年に小売店や飲食店が複数開業していた反動もあり、ショッピングモール全体としての景気は今よりも低水準になると予測している。
▲	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・ゴールデンウィークは売上が増加したが、現在はその分が減少したためプラスの要素が特にならない。実質賃金の伸びがなく物価高に連動した売上増加や来客数減少の傾向は続く。
▲	スナック（経営者）	・中東情勢の影響による原油やナフサの不足で、今後更に物価が上昇し、それに伴い外食費は節約モードになると予想される。今月の売上は前年並みで、インバウンドの増加で確保できたが、国内内容は減少傾向で景気上昇につながるとは考えられない。

	▲	観光型ホテル（総務）	・例年6～8月の第2四半期が良くないが、今年も動きが鈍い。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・現在の見込みでは販売量が下がると予想され、それに伴い販売量を増やすために単価を下げる傾向にある。夏休みではあるものの、お盆など時期が限られていることも販売量が下がる要因の1つである。
	▲	旅行代理店（統括者）	・中東情勢は終息せず、現時点では厳しい予測となっている。
	▲	通信会社（役員）	・食品を始めとする生活必需品の値上げが続き、燃料費への補助等も減額、廃止の動きがあり地場経済が回復する見込みが薄い。
	▲	テーマパーク職員	・イラン情勢による物価高の影響により、レジャーへの支出が減少する可能性がある。
	▲	ゴルフ場（従業員）	・原油価格の高騰が続けば、燃料サーチャージの上昇により航空機が飛ばない可能性もあり、国内客だけでは九州各県のゴルフ場経営は厳しい状況になると懸念している。
	▲	ゴルフ場（営業）	・猛暑が予想され、予約が伸び悩んでいる。
	▲	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・重要な顧客は製造業であるが、塗料の特にシンナーが入荷しないため、この状況が続くと製造できなくなる懸念がある。
	▲	その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	・サービス業やフィットネス事業の業界では、安価な無人形態の出店が続いているため、可処分所得の低い若年層の利用が大きく減少している。また、子供のスクール事業への参加申込みも、同様に大きく減少している。
	▲	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・サービスの担い手である人材の確保が業界全体として進んでいない。人員の減少によって介護サービス提供量も減少している。また、介護報酬においては賃上げ財源に充当するための改定増しかなく、基本単位は減少あるいは横ばいであるため、介護事業所の倒産件数も更に増加するとみられる。
	▲	設計事務所（代表）	・ナフサ不足が長引くと予想している。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・今の状況はしばらく続くと予想されるが、販売面ではやや厳しい状況になってくる。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・中東情勢の影響により、原油やナフサ等が入ってこない状況や補助金の効果などが懸念される。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・当店は生花がメインの花屋であるため、これから厳しい夏が始まると生花が長持ちせず、購入を控える客が多くなる。毎年この時期を乗り越えることが大変になっている。
	×	衣料品専門店（店長）	・石油問題で様々な影響が出ている。
	×	高級レストラン（経営者）	・中東情勢の影響もあり、企業の会食機会が減っている。5月は例年株主総会後の会食が多い時期であるが、時代の流れで来客数は減少傾向となり先行きが読めない状況である。
	×	通信会社（企画担当）	・需要の拡大は見込みにくい。
	×	設計事務所（所長）	・中東情勢の影響がどこまで続くか不透明で、現状では大きく変わることはないかと推察される。
企業 動向 関連 (九州)	◎	電気機械器具製造業（総務担当）	・顧客の業績目標の情報からは、良くなると予測している。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・取引先との連絡を取り合うことが今まで以上に大切になってきている。さらに、市場金利の高騰による調達経費の増加も懸念材料である。
	○	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・取引先の見通しは材料確保のめどがついているため増産傾向にある。
	○	金融業（経営者）	・会員の拡大策が功を奏し、プラスに転じるとみている。
	○	経営コンサルタント（代表取締役）	・現時点では石油問題について懸念しているが、近いうちに解決する方向に動けば、景気はかなり上向きになると予測している。
	□	農林水産業（経営者）	・例年6月は梅雨で厳しい状況となり、7月以降は夏場の消費拡大を期待していた。しかし、今年は石油関連商品の値上げでコストがかさみ、消費者の節約志向で販売も期待できそうになく、中東情勢の影響が出始めたとみている。
	□	家具製造業（従業員）	・中東情勢の影響により材料等が安定供給されないため、受注に支障を来している。
	□	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・例年の傾向より上半期は横ばいである。
	□	化学工業（総務担当）	・前年度より拡販等を進める予定であるが、中東情勢の影響等により不安定な状態が続く。

	□	一般機械器具製造業（経営者）	・プラスチックの材料が入らず、先行きは不透明な状況である。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・今後営業活動の影響もあり、半導体関連の受注が増えると予想している。また、中東情勢による厳しい経済状況であるため、取引先の状況が悪くなる事態も考えられる。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・人件費や原材料価格の高騰の影響により、増益確保の経営手腕が問われる。
	□	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・現時点では、中国向けガソリン車への影響により引き続き減少傾向が予測され、今月と同等の生産が続くと見込んでいる。
	□	輸送業（従業員）	・不足している商品の補充のめどがつきにくいいため、良くなることはない。
	□	輸送業（従業員）	・中東情勢や日中関係などによる影響への対策や改善は難しく、毎月数百から数千品目の値上げが続いている中では、給与が大幅に改善されない限り厳しい状況が続く。
	□	輸送業（総務担当）	・出荷量が減少した原因にもよるが、大きな景気変動はないとみられる。ナフサ不足によるこん包資材不足は続き、不安材料が多いことを懸念している。
	□	通信業（経理担当）	・顧客が納品用とする情報機器の供給が滞るかもしれないとの臆測もあるが、現時点では、そのような事象は顕在化していない。
	□	金融業（調査担当）	・賃上げが物価上昇に追い付いていないという声が根強く、事業者においては資材不足や仕入価格上昇に歯止めがかからない状況にあることから、景気は現状で推移する。
	□	不動産業（経営者）	・今後の仕事の内容は、余り変わらない。
	□	新聞社〔広告〕（担当者）	・世界情勢が混とんとしており、明るい兆しがみえない。
	□	経営コンサルタント（社員）	・消費者はあらゆるものを節約し始めていく。
	□	経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス数や問合せ件数に変化がない。
	□	経営コンサルタント（社員）	・この数か月ダイレクトメールを発行し期待していたが、反応がないため景気は変わらない。
	▲	通信業（職員）	・今年度の受注目標と比較すると、営業先情報が大きく不足しているため、今後の営業活動及び情報収集で充当する必要はあるが、現時点で見込みが立っていない。
	▲	金融業（営業）	・中東情勢の影響が懸念され、これ以上の物価高騰は明らかにマイナス要因である。先行き不透明であるが、早期に終結すれば、心理的なプラス効果も期待できる。
	▲	金融業（営業担当）	・中東情勢の影響により、取引先の建設関連は特に資材や塗料の入手めどが立たず、工事の受注を見合わせているため、売上の減少が他業種にも波及する見通しである。
	▲	広告代理店（従業員）	・世界情勢の混迷化により、ますます不確実性が増しているため、3か月後も景気はやや悪くなっている。
	×	繊維工業（営業担当）	・資材の値上げが進み、徐々に厳しい状況になると予想している。
	×	金融業（調査担当）	・中東情勢は、取引先にかなりの影響をもたらすと予想している。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村で予算化されている業務で、まだ発注されていない業務もあるが、企画提案はほぼ終了し、今後は入札が大半になると推測される。入札では価格競争が以前より激しくなることが予想される。このため、以前より安く応札する必要があり、受注できない可能性もあるため、今後の景気は悪くなることが予想される。
雇用 関連 (九州)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・既にお中元時期の受注があり、人数も前年と同等数、若しくは、増員の見込みである。
	□	人材派遣会社（社員）	・今後は、企業側の採用に対する慎重姿勢が続くとみられるものの、慢性的な人手不足を背景に一定の人材需要は継続するとみられる。短期案件を中心とした依頼は継続する見込みであり、全体としては現状維持で推移する。
	□	人材派遣会社（社員）	・例年、夏場に向けて受注などの動きが出てくるため、前年並みの派遣受注、稼働数が保てると見込んでいる。景気動向の良さを実感するまでの材料が現時点では見当たらない。
	□	新聞社〔求人広告〕（社員）	・夏や初秋に向けた猛暑対策のサービスやグッズ購入による個人消費で好景気が期待できる。

□	職業安定所（職員）	・求人数は増加傾向であるが、採用数は大きな変動はみられず、事業所からは中東情勢の影響に伴い、今後の各種原材料の入荷等に不安を抱く声もあり不透明な状況は続く。
□	学校〔大学〕（就職支援業務）	・イラン情勢の影響によりエネルギー価格の変動やナフサ不足の懸念など供給面の不安定さが高まり、企業の生産や採用姿勢に慎重さがみられる。また、物価上昇に対して実質賃金の改善が遅れているため、個人消費も力強さを欠いている。求人動向も業種間のばらつきや企業の採用選別の傾向が高まり、学生の就職活動は安心感が限定的である。この状況から、短期的に景気が大きく改善する要因は乏しく、現状維持から大きな変化はないとみられる。
▲	人材派遣会社（社員）	・中東情勢による物価上昇が顕著であり、今後の人員計画が不透明になる可能性が高い。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・大企業は円安の追い風で輸出が好調となり、賃上げも進んでいる。金融機関も金利上昇を背景に収益が改善し、地元の鉄道大手は好決算が続いている。一方で、中小企業は原材料価格の高騰や人件費負担が重く、消費税の仕入れ控除が使えないため社員雇用を避け、業務委託に依存する傾向が高まっている。こうした構造により、企業規模や業種による格差が拡大しており、全体として景気の底堅さは感じにくい。
▲	職業安定所（職員）	・物価高騰が更に進むと予想される。
▲	職業安定所（職員）	・中東情勢が落ち着いても、資材不足等の影響が当面続くことを懸念している。
▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	・A Iを導入する企業の増加に伴い、事務職の人員減少が顕著である。
×	—	—